

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ソウカダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) カンザカゼミ
創価大学	経済学部	勘坂ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ホープス	フリガナ) アンザイモモコ	5	無	
HoPEs	安齋桃子			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

学生自身がブラックバイトから身を守ることでできる環境を目指して

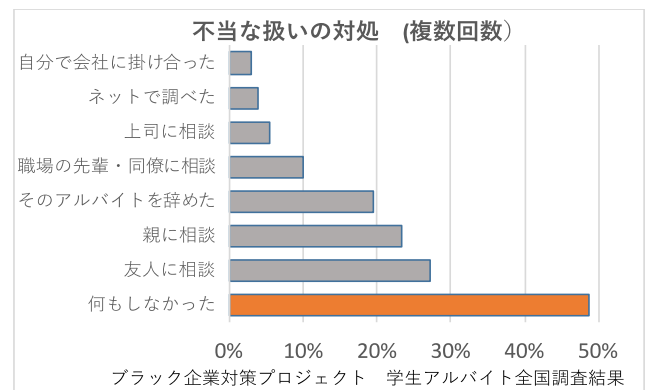
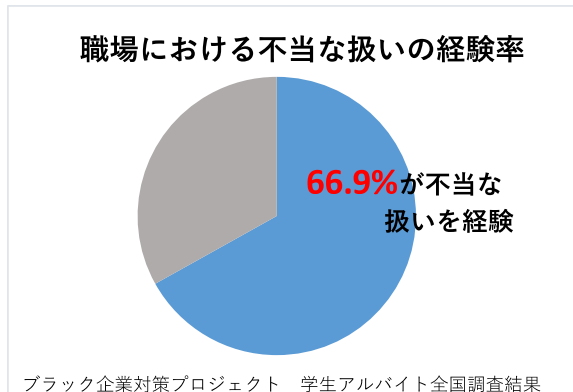
※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

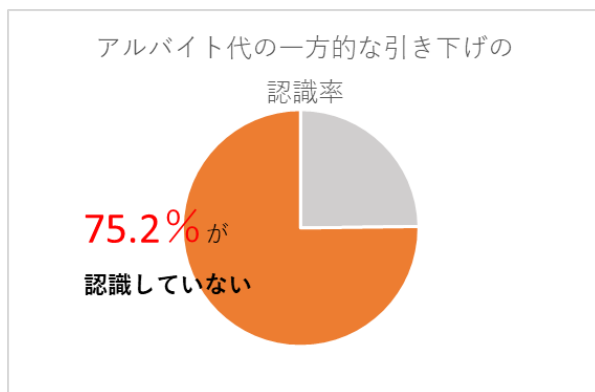
ブラックバイトとは、学生であることを尊重しないアルバイトのことであり、主に低賃金であるにもかかわらず、正規雇用労働者並みの義務やノルマを課されたり、学生生活に支障をきたすほどの重労働を強いられることがあげられる。また、ブラックバイトは、学業に影響を与えるだけでなく、理不尽な待遇に耐えることにより、大学で学ぶべき批判的思考力や判断力の妨げになる。つまりブラックバイトは、日本の経済と社会に大きな問題を引き起こすのである。そこで、私たちは、アルバイトを始める前の大学生に働く上で必要な知識を与え、自分自身で身を守ることでできる社会を作ることが目的に、このテーマについての研究を進めてきた。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

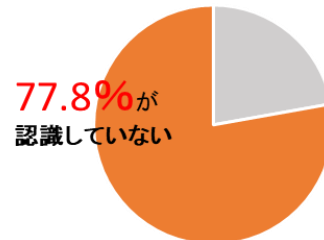
現在、非正規雇用の基幹化や学費の増加を背景に学生のアルバイトを中心としてブラックバイト被害が増加している。ブラック企業対策プロジェクトが学生に向けて行ったブラックバイト全国調査では、約7割の学生アルバイト経験者が過去に不当な扱いを受けたことがあると回答した。一方で、ブラックバイト経験者に対するどのように対処を行ったかというアンケートの結果、約6割が対処を行っていなかった。また、研究を進めていく中で、ブラックバイトの被害が深刻化する背景として、正しい対処法や法律に関する知識がないことや経済的理由で弱い立場にある学生に付け込んだものが多いという事が分かった。実際、法律違反を行っているブラックバイトの事例が多く取り上げられているにもかかわらず、法律違反であることについて知らない学生が多いのが現状である。



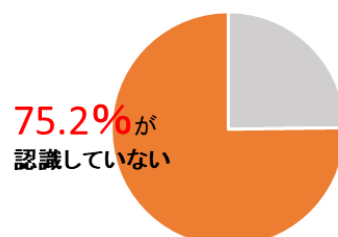
例えば、ブラックバイト全国調査におけるアンケートでは、事業主がアルバイト雇用時に、業務内容、労働時間、賃金などについて、書面で明示する必要があるという事を知っていると答えた学生は約半数を切っていた。しかし、ブラックバイトのなかにはこれらの書面を明示しない企業が多くあるという事がわかった。また、事業主がアルバイト代を一方的に引き下げることは法律で禁止されているにもかかわらずそのことを知っている学生は全体のわずか25%ほどであった。このことから、知識の不足によって学生自身がブラックバイトの被害から自分の身を守れない環境にあると言える。



規律違反やミスによる減給ができないことの認識率



アルバイト代の一方的な引き下げは出来ないことの認識率



3. 研究テーマの課題

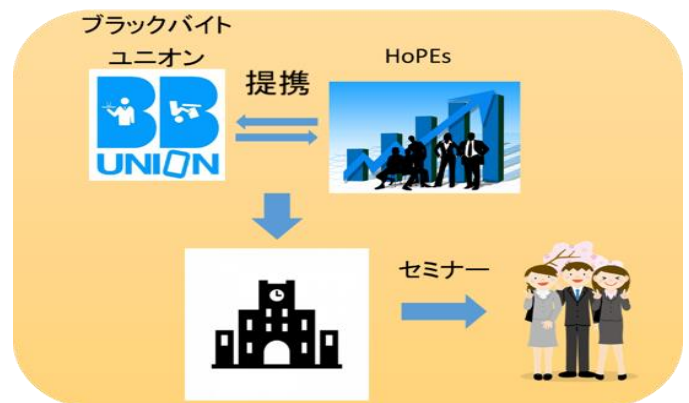
多くの大学生がブラックバイトについての知識を学ぶことができていないという現状から、ブラックバイトの被害を被った時にいち早く認識し、自分の身を守ることを可能にする知識を得る機会が必要である。そのため、大学において、アルバイトを始める前の大学生を中心としたセミナーを開催する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記の課題を解決するために、アルバイトを始める前の大学生が自分自身でブラックバイトから身を守ることのできる施策を提案する。施策の概要としては、「各大学でのセミナーの開催」である。セミナーは八王子市の各大学で行う。その理由として、八王子市には、大学・短期大学が20校あり、約100,000人の学生が学んでいる全国でも有数の学園都市であるからだ。

施策の詳細としては、学生NPO法人であるブラックバイトユニオンと協力し、八王子の大学で新しくアルバイトを始める大学生をターゲットにブラックバイト対策セミナーを行う。内容は、1) ブラックバイトについて、2) 現状・被害事例、4) 労働基準法について、5) 対処法、6) 相談先の把握の5つを軸として行っていく。まず、はじめにブラックバイトについて述べる際に、クイズを用いて参加者の方々に分かりやすくブラックバイトを理解していただくことを目指す。

次に、現状・被害事例を示すことにより、ブラックバイト問題の深刻さを伝え、人事ではなく、誰にでもブラックバイトに陥る危険があるということを訴える。続いて、自分自身の身を守るために必要な、労働基準法についての知識や対処法を学び、ブラックバイトに陥った際に頼るべき相談先の紹介も行う。最後に、アンケートを行うことによって知識向上に対するセミナーの有効性を検証する。以上の流れでセミナーを行う。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

まず、セミナーの開催にあたり、八王子市の大学・短期大学に在籍している日本人学生を対象に、独自で作成したアンケートをweb上で行った。また、ブラックバイトユニオンに、いくつか質問をし、八王子にある大学・短期大学8校に電話でヒアリング調査を行った。

6. 結果や今後の取り組み

ブラックバイトユニオンとのミーティングを行い、各大学でのセミナーの準備を協力して行う。

- ・創価大学にて模擬セミナーを行い、参加者の声を聞く。
- ・セミナーを開催する大学を決定
- ・引き続き八王子にある大学・短期大学のヒアリング調査を続ける。
- ・八王子にあるお店のアルバイト環境の調査。

7. 参考文献

- ・八王子市公式ホームページ
<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/159753/p005594.html>
- ・ブラック企業対策プロジェクト 学生アルバイト全国調査結果
<http://bktp.org/wp-content/uploads/2014/11/学生アルバイト全国調査結果（全体版）.pdf>
- ・大内裕和（2016）「ブラックバイトに騙されるな！」集英社

・大学生等に対する学生アルバイトに関する意識調査結果について

<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11201250-Roudoukijunkyoku-Roudoujoukenseisakuka/0000103625.pdf>

・学生たちを悩ませる「ブラックバイト」の実態

https://weban.jp/contents/an_report/repo_cont/pro/20140303.html

・ブラックバイト訴訟

<https://mainichi.jp/articles/20160914/k00/00m/040/074000c>

・ブラックバイトにご用心！！～具体例に見るその手口

<https://news.yahoo.co.jp/byline/sasakiryo/20150319-00043970/>

・ブラックバイトとは | 主な特徴と学生も出来る法的対策ガイド

<https://roudou-pro.com/columns/62/>

・ブラックバイトの定義 | その背景にある社会の変化とは？

<https://campus-hub.jp/article1091>

・なぜ広がる “ブラックバイト” 被害

<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3684/1.html>

・学生はなぜ「ブラックバイト」にはまるのかー労働法に守られた権利を認識せよ

<https://toyokeizai.net/articles/-/55495>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください